

# エコ・ファーストの約束

ユニーは2008年に、環境への取り組みのトップランナーとして、環境大臣とエコ・ファーストの約束を交わしました。消費者と一緒に環境問題解決に取り組み、持続可能な社会構築を推進することを約束にしています。食品廃棄物に関わる問題や地球温暖化対策など、エコライフスタイルを提案し推進することがユニーのエコ・ファーストです。

## エコ・ファーストの約束と環境活動

### ▶ 廃棄物の発生抑制と資源循環の推進

循環型社会を実現するためには、廃棄物を削減することと、排出してしまった廃棄物を再資源化する再生利用を推進しなければなりません。

今期は特に「食品廃棄物の不正処理」が本社と同じ稲沢市で起き、大きな問題になりました。ユニーはこうした問題が起きないように、国から認定された食品リサイクルループを構築しています。



循環型農業でできた野菜の売場

### ▶ 持続可能な社会構築のための環境教育を実施

ユニーは企業としての環境問題への取り組みを推進しています。また、地域に根差した小売事業者として消費者と一緒に地域環境貢献活動を実施し、さらに家庭でのエコライフスタイルを広げるために店舗や地域で啓発活動を行っています。特に未来を担う子ども達を対象に、環境学習を全店舗で実施しました。



店舗での環境学習

### ▶ 消費者の行動変革による持続可能な社会構築

2015年から環境省が進める「COOL CHOICE」を、お買い物を通して消費者に実践していただくために、店舗や社外での啓発活動に取り組みました。特に環境配慮商品やリサイクルボックス、電気自動車の充電スタンドには「COOL CHOICE」のロゴマークを表示して、消費者の認知度向上に努めています。



COOL CHOICEを展開

### ▶ エコ・ファースト企業とのコラボレーション

総合小売業として唯一エコ・ファースト企業に認定されているユニーは、メーカーと消費者をつないで環境貢献を推進する役割を果たすために、エコ・ファースト企業であるライオン・キリンと協働で体験型環境イベントを開催しました。また、エコ・ファースト推進協議会は大型ショッピングセンターで開催するエコ博にブースを出展し、消費者への認知度を高めました。



エコ博に出展（アピタ富山東店）キリン・ライオンとの共同企画

### ▶ エコ・ファースト推進協議会活動

さまざまな業界から選ばれたエコ・ファースト企業が集まり、業界を超えて持続可能な社会構築を目指して、2009年にエコ・ファースト推進協議会を発足させました。総会に出席した環境大臣は、COP21パリ協定で日本が提示したCO<sub>2</sub>削減に対する取り組みを一緒に進めることを表明しました。また2015年秋には東日本大震災の被災地の子ども達への支援活動を会員企業が共同で実施しました。



エコ・ファースト推進協議会総会



エコとわごコンクール表彰式



東日本大震災 子ども支援活動



情報交換会で発表

### ▶ エコ・ファーストの約束の進捗状況

<p><b>1</b></p> <p>循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。</p>	● 食品リサイクルループを全店に拡大します。	▶ 食品リサイクルループ参加店舗 145店舗（食品取扱い215店舗中）	p30参照
	● 再生利用等実施率80%を2018年度までに達成します。	▶ 再生利用等実施率 72.9%（2015年度）	p28参照
	● 食品廃棄物発生抑制を図り、2018年度までに年間売上高（百万円）当たりの発生量32kg以下を達成します。	▶ 年間売り上げ百万円当たり 31.3kg	p28参照
	● 2018年度までにレジ袋辞退率85%を達成します。	▶ レジ袋辞退率 86.1%	p23参照
<p><b>2</b></p> <p>持続可能な社会構築のために、環境教育を実施します。</p>	● 小型家電のリサイクル回収を推進します。	▶ 小型家電リサイクル回収店舗 12店舗	p21参照
	● 全店で年間1万人の子ども達に子ども環境学習を実施します。	▶ エコロお店探検 / 106回実施（850人参加） エコラリー / 121回実施（2,558人参加） 小中学校の見学 / 94回実施（6,339人参加）	p34参照
	● 消費者の行動変革による持続可能な社会実現のために、店舗において5万人の消費者を対象に環境イベントによる啓発活動を実施します。	▶ エコ博 / 10回実施（5万人参加） エコフェスタ、その他 / 12回実施（1万2,000人参加）	p47~48参照
	● 店舗での省エネ・地域での資源循環を目指し、年間3万人の従業員に環境教育を実施します。（2015年2月21日~2016年2月20日）	▶ ISO14001取得のために 26店舗4,420人に教育実施	p9~10参照
<p><b>3</b></p> <p>消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。</p>	● ユニーと取り引きのある環境関連事業者（廃棄物・リサイクル関連等）に環境法令・循環型社会構築などの啓発を図ります。	▶ 環境関連事業者連絡会 2回実施 329人参加	p37参照
	● 環境配慮商品を開発・販売、消費者にお買い物を通してエコライフスタイルを啓発して地球温暖化防止を推進します。	▶ 環境配慮商品eco!onを大学生と コラボでプロモーション	p17~18参照
	● 環境配慮PB商品の容器包装を見直して、バイオマスプラスチックの活用や軽量化を図ります。	▶ PB商品の容器包装削減実施 NPOごみじゃぱんと減装ショッピングで消費者に啓発	p17~18・p24参照
	● 店舗開発において、スマートシティを研究し導入を図ります。	▶ 店舗業務副店長に省エネ教育実施	p20参照
	● 地球温暖化防止を目指したEV・PHV普及のため、電気自動車の充電スタンドを大型店舗100店舗以上に設置します。	▶ 充電スタンド設置店舗 51店舗71台（うち急速充電器4台）	p16参照

▶ 新しい「エコ・ファーストの約束」



# エコ・ファーストの約束



～環境先進企業として持続可能な社会構築の取組～

2014年6月18日

環境大臣 石原 伸晃 殿

ユニー株式会社 代表取締役社長 佐古 則男

## 「未来の子ども達に美しい自然を残したい」

ユニー株式会社は、食品循環資源の再生利用等を推進すべき食品等の小売業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、持続可能な社会構築を目指し、「お買い物」を通して消費者と一緒に地域に根ざした環境活動を推進します。

### 1 循環型社会構築を目指し、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進します。

- 食品リサイクルを適正かつ積極的に推進します。
  - ・ 地域のリサイクル事業者・農業者と連携し、地産地消の取り組みとなる食品リサイクルループを2018年度までに全店舗に拡大し、再生利用等実施率80%を達成します。
  - ・ 食品廃棄物の発生抑制を推進し、2018年までに、年間売上高（百万円）当りの食品廃棄物発生量を32kg以下を達成します。
- 容器包装廃棄物の発生抑制の取り組みとして、2018年度までにレジ袋の辞退率85%を達成します。
- 循環小型家電のリサイクル回収を実施し、限りある資源を有効に循環させます。

### 2 持続可能な社会（低炭素社会・循環型社会・自然共生社会）構築のために、環境教育を実施します。

- 次世代を担う子ども達に対して、お買い物を通して持続可能な社会を実現するために、学び、考え、行動する環境学習を全店舗において年間1万人の子ども達に実施します。
- 消費者の行動変革により持続可能な社会を構築するために、店舗で環境イベントを開催し、年間5万人以上の消費者にエコライフスタイルを啓発します。
- 店舗での省エネ・再生資源地域循環を目指し、自社の従業員及びテナント従業員 年間3万人以上に環境教育を実施し、廃棄物削減・リサイクルを推進します。
- 当社と取引のある環境関連事業者（廃棄物・リサイクル関連等）に、法令遵守・循環型社会構築のための環境教育を実施します。

### 3 消費者の行動変革による、持続可能な社会を構築します。

- 環境配慮商品やサービスを、開発・提供することにより、お買い物を通して地球温暖化防止を目指したライフスタイルを推進します。
  - ・ 環境配慮PB商品の容器包装を環境設計し、バイオマスプラスチック製容器包装の拡大、また20%の商品の容器包装でトップクラスのリデュースを実施します。
- 地球温暖化防止を目指し、スマートシティを研究し導入を図ります。
- 電気自動車の普及推進のために、大型ショッピングセンター 100店舗以上に充電設備を設置します。



ユニー株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

